

蒸気機関車「しおかぜ号」 藤沢に来て半世紀

子どもたちがバトンを繋いだ
SL広場とミニ鉄道

今年、八部公園に保存されている蒸気機関車「しおかぜ号」は、誘致・保存から50周年を迎えます。子どもたちの手で大切に守られてきた「しおかぜ号」とSL広場に込められた思いなどを紹介します。

問い合わせ (公財)藤沢市みらい創造財団青少年事業課 ☎(25)5215、FAX(28)9567



「しおかぜ号」のあゆみ

八部公園に保存されている蒸気機関車C11-245号機。この蒸気機関車(SL)を市が誘致したのは1976年です。SLが各地から姿を消していく中で、本物のSLを藤沢に残したいという気運が高まり、署名運動によって誘致・保存が実現し、公園の一角がSL広場として整備されました。お披露目を迎えた76年10月1日、広場には多くの人が詰めかけ、SLの周りは子どもたちでにぎわいました。

1976年10月1日
入場規制が繰り返されるほどの
にぎわいを見せました



このSLは「しおかぜ号」と名付けられ、清掃保存活動には大人だけでなく多くの子どもたちが集まりました。そこで結成されたのが「藤沢SL少年団」です。ところが子どもたちはSLが動く仕組みを知りません。そこで、実際に動く姿を見て、触れて、乗れるSLとして用意されたのがミニSLでした。

誘致・保存から4年後、「しおかぜ号」の周りに軌間127mm、1周166mのレールが敷かれ、ミニ鉄道が開通しました。ミニ鉄道は、本物と同じ仕組みで、石炭を燃やして水を沸騰させ、そこで生じる蒸気圧を使って走ります。



1980年10月
ミニ鉄道開通のテープカット

「しおかぜ号」の現在

毎月第2日曜日の定例活動では、藤沢SL少年団の団員がミニ鉄道の運転会を運営しています。運転士や車掌はもちろん、きっぷを発券する出札係、きっぷに入鉄する改札係など、全員がそれぞれの役割を果たすことでミニ鉄道が動き、たくさんの方を楽しませています。



2006年
「しおかぜ号」を風雨から守る
屋根が設置されました

藤沢SL少年団は、鉄道が好きな子どもたちが集まり、自身の意思で活動し、先輩から教わりながら仲間と共に考え、それを後輩へ伝えていく場です。どうすれば「しおかぜ号」をきれいに保てるか、ミニ鉄道を安全に走らせるか、もっと楽しい運転会にできるかを皆で知恵を出し合い、手を動かして試行錯誤を繰り返しています。この50年の間に400人を超える団員がこの活動のバトンを繋ぎました。

誘致・保存から半世紀、「しおかぜ号」とミニ鉄道は子どもたちにさまざまな体験の機会を創出し続けています。



定例活動の午前中は「しおかぜ号」の
清掃をします



午後はミニ鉄道運転会
毎年1万人程度の乗車があります

視覚障がいのある方や家族など周囲の方へ

点字版広報ふじさわ

広報ふじさわの内容を全面点訳し、点字版を作成しています。

視覚障がいのある方や見えづらい方のために「点字版広報ふじさわ」と「声の広報ふじさわ」を発行しています。利用を希望する方は広報シティプロモーション課へご連絡ください。

問い合わせ 広報シティプロモーション課 ☎内線2121、FAX(24)5929

声の広報ふじさわ

広報ふじさわの内容を音声化し、一般用CD版、プレクストーク用CD版(ダイジー)の2種類を作成しています。

※市の他の広報シティプロモーション課のページでは、「声の広報ふじさわ」を配信しています。簡単な操作で聞くことができますのでご利用ください

